

令和5年度くにさきオリーブの総収穫量

10.7t

令和5年は令和4年*に比べて収穫量が減少し裏年となりました。減少した理由としては多くの原因が考えられます。大半が気象を要因とするものでしたが皆様のご協力により、厳しい気象条件から遥かに良い収量を維持できたと考えています。

*令和4年度：14.2t

減少した主な4つの理由

令和4年の台風により倒れた樹の被害

- 令和4年9月台風14号で倒伏した樹は多くが枝を切り込み復旧状態で今年度の収穫が出来ない状態の樹があった



数百本発生したため収量が減少した

隔年結果の発生

- 昨年多く実が採れた樹→隔年結果が発生
隔年結果が起きやすい品種
・ネバディロブランコ
・ルッカ
開花時から花の数が少なく

実が成りにくい

開花時の降雨

- 開花時に一部園地が梅雨とかぶり、甚大な収量減となった。



満開時に1日中雨が降り注ぐような降雨が複数回あると

受粉が上手く行かない

9月からの少雨

- 9月以降は極端に雨が少なく、記録的な年となった
実に病気は発生しにくかったものの

実が大きくなりず小さいまま収穫を迎えることになった

降水量から見る果実の品質

Next